



「潮見のすてき」が見つかったかな？(2年生)

11月22日(金)、2年2組で生活科の研究授業を行いました。「しおみのすてき 新はっ見」の発表会をしました。潮見地区にある店舗や事業所を町探検で訪れましたので、そこで調べたことを友達に伝えました。自分たちが調べたことをもとにして地域の場所や人のよさについて伝え合うことが今回の授業の大きな目的でした。

子どもたちは、タブレット端末を使って、取材した写真や動画を見せていました。クイズを出したり、劇にしたりして、聞き手が興味をもつことができるように工夫していました。特に、劇をする場合には、訪問した場所にいる人になり切ることで、その人の立場で潮見のよさを感じ、伝えることができたように思います。



友達の発表を聞いて、自分たちが知らなかった「潮見のすてき」をたくさん見つけることができました。「行ってみたいと思った」「こんな努力をしていることを知った」というような発表も聞かれました。子ども同士の意見交換も数多く見られ、活気のある発表会でした。

今回の研究授業では、自分たちが生まれ育った潮見地区のよさを感じることができたので、今後の生活科だけでなく、「ふるさと潮見」について考える活動のよい指針となりました。また、私たち教師も、潮見地区の「人・もの・こと」について、今以上に知る必要があることも分かりました。

改めて、今回の生活科にご協力いただいた地域の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

能楽の鑑賞をしました(4年生)

11月20日(水)に4年生が能楽鑑賞会を行いました。能楽の起こりなどの説明を受けた後、笛や鼓などの演奏を体験したり、実際に能を鑑賞したりしました。私も実際に笛を吹かせてもらいましたが、なかなか音が出るものではないことがよく分かりました。

伝統文化は少し敷居が高いように思われましたが、体験を通して身近なものに感じることができました。もちろん、多少の難しさはありましたが、難しいなりに子どもたちは興味をもって活動しました。長く続いている伝統文化、古典の底力も感じました。

